

## 京都学園大学 2016年度 学生満足度調査結果のポイント

実施時期：2016年12月～2017年3月 回収率：70.7%

### (1) 全体的な傾向

全体的な傾向は前年度と同じであるが、全体的な満足度は少し良くなっている。【質問A】学生生活に満足と答えた割合は微増（54.9%→55.3%）し、【質問D】入学後の大学生活について入学前の想像より悪かったと答えた割合は下がった（37.2%→30.5%）。

### (2) 学年による学生生活の満足の推移

前年と同じく、学年ごとに見ると、満足の割合は1回生と比べ2回生では下がるが、3回生・4回生では高くなっている。

### (3) 入学前の想像と比べ入学後の学生生活が良かった主な理由【質問D1】

上位3つの理由は、学生（友人）、授業、施設であり、学生（友人）が特に多かった（21.2%）。

### (4) 入学前の想像と比べ入学後の学生生活が悪かった主な理由【質問D1】

上位3つの理由は授業、施設、交通である。ただし、授業と施設については、良かった理由としても挙げられている。【質問D2】の結果から、授業の満足度は科目による差が大きいと考えられる。施設については、特に京都太秦キャンパスでスポーツができる施設を求める声が多い。交通については、便数・費用の面で改善の要望が多い。

### (5) 昨年度から改善されたこと（学食・パソコン環境について）

前年度と比べ、学食についての不満の割合が、26.5%から21.0%に減った。京都太秦キャンパスのレストランの座席増設措置による効果があったと思われる。パソコン環境については、パソコン教室使用改善の効果があったと思われ不満の割合が23.6%から14.5%に減った。

### (6) 今後、求められる改善

- ・学食およびパソコン環境については、一定の改善はしたものの引き続き改善が必要である。
- ・授業については、授業評価アンケートやFDを活用し継続的な改善が必要である。
- ・施設面については、学生からの要望を踏まえ、京都太秦キャンパスの西館建設計画において、ジムなどの設置が検討されているが、今後もできるだけ学生のニーズを反映したものを検討していくべきである。
- ・交通について、コストパフォーマンスを踏まえた改善策の検討が求められる。